

# 和学

～仲間の和を大切に・心和む学年に～

四日市市立朝明中学校第2学年

学年通信 第13号 2019/11/18 (月)

## 体・心・性・命

驚いたのではないのでしょうか。土曜授業参観の日、担任の先生方が読み聞かせをするとわかったときは。いつもと違う様子で先生が絵本を構えたときは、ちょっと笑ってしまうような様子もあったようですが、お話が進むにつれ目が絵本に釘付けでした。久しぶりの読み聞かせで、幼いころに戻ったような気がしたかもしれませんね。

「百万回生きたねこ」。読んだ記憶のある人もいたでしょう。ただ、幼年期とは違う感想をもったのではないのでしょうか。中学生となった今、お話を深く受け止めることができるようになったのではと思うからです。「生きる」ということについて。「命」ということについて。

先日、学校では1, 2年生を対象にいなべ総合病院の産科医・川村先生による「性の講演会」が行われました。「性の講演会」と聞いて、セクシャルマイノリティーのお話を想像した人が多かったようですが、今回のお話は違いました。男女の体の性差について、そしてデートDVについて等、これまでタブー視されていたような内容を「医学的」な視点にたってお話していただきました。

「最初は前を見て川村先生のお話を聞くことが恥ずかしかったけれど、聞いているうちに自分にとって必要なことだということがわかり、真剣に聞きました。」

「この世に生まれてきたことは奇跡的なことだと知り、自分の体を大切にしたいと思います。」という感想が多く寄せられていました。性＝恥ずかしいことだという感覚から脱却しつつあるみんなの心が感じられました。

実は大人も同じです。「性の話を子どもにするのは恥ずかしい。どう話していいか迷ってしまう。」保護者も先生も、立ち往生してしまう部分です。しかし、川村先生が、「性交渉＝セックスは赤ちゃんをつくるため、そして大人のコミュニケーションとして大切なことです。」と言い切ってくれたことに、スッキリした気持ちになりました。みんなも同じ気持ちだったのではないのでしょうか。

性についてのお話は人が生きて行く上で避けては通れないことです。だからこそ「知る」ことがとても重要なのですね。これからも折にふれて、こうした体と心のお話をしていきましょう。

道德のお話に戻ります。主人公の「100万回生きた」猫は繰り返す人生の中で、一度も泣いたことはありません。飼い主を好きになったこともないし、生きることも、死ぬこともなんとも思っていないでました。そんな猫はあるとき、野良猫として生まれます。立派な野良として育った猫は、白い猫と出会います。白い猫は他の猫たちのように自分に媚び（こび）を打ったりはしません。得意げにたくさんの人生を語っても、耳を傾けてはくれません。アプローチの末に猫は、「そばにいいかい。」と素直な気持ちを打ち明けます。「ええ。」白い猫は初めて答えてくれました。猫には初めて、「自分より大切」と思える家族ができました。・・・時は流れ、白い猫が息を引き取ります。

悲しくて悲しくて泣き続けた猫は、白い猫の横で静かに動かなくなりました。そして、もう二度と生き返ることはありませんでした。

絵本を読んだ後、みんなに問いかけた質問は二つ。

「何度も生きた猫は幸せだったと思いますか。」

「猫はなぜ『もう二度と』生き返らなかったのでしょうか。」

そして、最後にこんな質問をしました。「今、子どもを虐待したり、家族で憎しみ合って、殺人を犯したり、そんなニュースが後を絶ちません。」

「どうすれば命を大切にできる心が増えていけるとと思いますか。」

一人ひとりが、「生きること」「命」について考えたことと思います。

今日、土曜日に書いたワークシートを家に持ち帰ってもらうこととしました。

家族と共に、講演会のこと、絵本のこと、みんなが生まれてきたときのこと、そして、上の質問に家族はなんと答えるか・・・などいろいろなお話をしてみてください。

きっと、「生きる」ヒントが見つかると思います。

#### 保護者の皆様へ

「性」への関心が高まりつつも、きちんとした知識のない中に子どもたちがいることが今回の講演を通してよくわかりました。ネット社会の広まりの中、(きっと今どきの子どもは何でも知っているだろう。)と私たち大人が決めつけてしまっている部分もあったかもしれません。映像等である意味「上っ面」の性を見せつけられてしまっている子ども達が無知と勘違いの中で、この先の人生を歩んでいくとなると・・・心配を越えて恐怖すら感じてしまいます。講演のインパクトに驚いた生徒もいたようですが、これからも正しい性のあり方については、保健体育科等でもお話をしていく予定であります。ご理解いただき、ぜひご家族でも向き合ってくださいますようお願いいたします。

なお、授業参観でお子様を上記の問いにどのような意見をもったかを一度読んでいただきたく、ワークシートを持ち帰ってもらうこととしました。ご一読いただきましたら、ワークシートにサイン等いただき、よろしければ下の感想欄に一言いただければと思います。(質問、ご意見等何でもけっこうです。)お忙しい中とは存じますが、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、土曜授業への参観、ありがとうございました。

第二学年一同

-----  
(ご感想・ご意見等)

---

---

---